

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
2017 年度事業報告
(2017 年 6 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

I. 年間の活動のまとめ

1997 年 1 月に準備号を発行し、同年 6 月に創刊した「月刊杜の伝言板ゆるる」は、2017 年 6 月で 20 周年を迎え、また、法人設立から 15 年が過ぎました。理事会は、現状を踏まえ、これまでの活動を振り返り、この先の法人の在り方について、この 1 年を通して真剣に議論しました。

まずは、3 月の年度末まで 250 号になる月刊ゆるるの発行について「存続」か「廃刊」かを検討し、結論として、発行資金の確保と関わる人材不足を理由に 250 号を迎える 2018 年 3 月で「廃刊」ではなく、前半 6 ページを修了する「卒刊」にすることにしました。後半の情報ページは、情報発信支援を基軸にしている当法人として継続することになっています。これまで発行を支えてくれた市民に感謝します。

一方、昨年度はできなかった宮城県の地域連携による事業は、今年度は対 NPO ばかりではなく、企業や自治体をも巻き込む事業展開が多くなり、異動と退職で力が弱っていた事務局では力が及ばない状況となりました。他の NPO スタッフの力を借りつつ何とか事業を終了させたという状況でした。

しかし、事業を実施したことにより、圏域の NPO やこれまで得意としてこなかった企業へのアプローチにも取り組み、世界で取り組んでいる SDGs（持続可能な開発目標）に向かって多様なセクターと協働しながら取り組む足掛かりを得た事業となりました。

また、全国的な流れについても他県の NPO 支援組織と連携しながら、休眠預金等交付金に関わる資金の活用に関して、その法律の理解と方針に関するパブリックコメントを提出したほか、2016 年度施行の NPO 法関連についての周知など取り組みました。まさに、地域の課題解決にとどまらず、NPO 活動の発展に向けて視野を広く展開しました。

しかし、現代表が事務局長を担って執行している体制では限界に近付きつつあり、継続に向けて世代交代する環境整備を検討し、その仕組みを早めに固めていかなければなりません。この案件は、今後も優先課題として継続的に取り組むことを認識して次年度につなぎます。

■2017 年度重点目標に対しての活動

1. 次世代を担うリーダーの育成及び体制づくり

2016 年、2017 年とスタッフリーダーと理事との合同合宿により、法人の事業を提案実施していく力を引き出す研修を中心に進めて来たが、その活動に隠れる社会的背景に視点を移し、実践に結び付ける人材を育てることは難しいうえ、個々の理由による退職がさらに困難な現状にある。個々人の覚悟の上にある範囲で、事業を担える仕組みを構築する予定。

2. 法人のキャリアを生かした自主財源を確保するための事業開発

会計事務サポートと組織診断による伴走型支援に取り組んだ。確実にニーズがあるとは認識するが、その周知とサービス実施体制が弱いため、財源となるほどの事業に至ってはいない。実施する人材の育成が急務である。

3. 市民活動情報の発信媒体の推進に向けた検討

2016 年 10 月より河北新報の月曜夕刊に「NPOの杜」コーナーが始まり、地域の課題を知らせつつ、それに取り組むNPOの想いを連載してきた。マスメディアらではの市民の反応もあり、手ごたえを実感している。月に1回の「月刊ゆるる」の発行は、特段ニュース性がなく、誌面や映像に取り上げられることはないが、その活動がなければ確実に困ってしまう人がいることを問題と捉え、継続して支えて活動団体していることに焦点を定め、広報してきたのが月刊ゆるるの役割として認識してきたが、その嗅覚を持つ人材を育てきれなかったのが「卒刊」の理由の一つだ。さらに年間 350 万円を超す経費が掛かることも大きな理由である。

結果として、この資金を事業で生み出しつつ情報誌を発行する意義を感じなければ継続は無理と判断し、250 号でその役割を河北新報夕刊に委ねたい。

しかし、NPOの情報掲載希望は、web版と同様に多いことから、情報発信支援として2018年4月から半分の8ページにして6000部発行する。

Ⅱ．活動に関する事項

1. 情報収集と提供

(1) 月刊杜の伝言板ゆるるの発行事業

市民が抱える課題に取り組む NPO の姿を取材したほか、常日頃から社会的課題解決に向け、取り組んでいる団体に原稿執筆を依頼し、団体の視点で市民に課題を伝える誌面作りにも取り組んだ。

なお、発行にかかる経費、情報誌としての役割の見直しなどの理由から、1997 年から発行してきた『月刊杜の伝言板ゆるる』は 2018 年 3 月号 (250 号) をもって「卒刊」とした。

引き続き情報収集提供の必要性がある市民活動団体の information 部分、助成金情報部分は『みやぎ NPO・市民活動情報紙 ゆるる info』として 2018 年 4 月より新たに発行していく。

【月刊杜の伝言板ゆるる】

仕 様 : A4 判 1 色 16 頁

発 行 部 数 : 9,000 部

配 布 先 : 約 631 か所

(県内公共施設・高等学校、一部仮設住宅、県外支援センター、他)

ページデザイン : 齋藤 奈緒美

協 賛 広 告 : 東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ、日本政策金融公庫

【掲載内容】

	特 集
6 月号	●「ここだけは自分でいられる場所」を作りたい～子どもの居場所事情 in 気仙沼～ ●地域の学校で共に学び、共に育つ 共育を考える会の 30 年 飯嶋茂 (共育を考える会) ●高校生の夏ボラ体験も 15 年目に。今年もやりますよ～！ NPO で高校生の夏ボラ体験 2017
7 月号	●認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる創立 20 周年記念講演 ドラッカー 2020 年の日本人への預言-市民性を問う 田中弥生 (大学改革支援・学位授与機構) ●泥の中から生きものの大切さを学んだよ！SAVE JAPAN プロジェクト「ふゆみずたんぼで田植え体験してみよう！」
8 月号	●認知症を治す非薬物療法と家族の絆 前田有作 (NPO 法人日本演劇情動療法協会) ●南浜つなぐ館充実へのご協力のお願い～未来の命を守る、市民の伝承活動～ 中川政治 (公益社団法人みらいサポート石巻) ●今年も高校生が NPO 活動にチャレンジ！夏ボラ事前学習会開催しました！
9 月号	●改めて「協働」について考えよう-地域で活かす SDGs- 新田英理子 (認定 NPO 法人日本 NPO センター SDGs 事業プロデューサー) ●夢や就きたい仕事、よりも、「こうありたい自分」を持てるように 中山聖子 (特例認定 NPO 法人ハーベスト キャリア教育コーディネーター)
10 月号	●みんなでこせっぺ、「おらほの森」 嘉藤一夫 (NPO 法人わたりグリーンベルトプロジェクト) ●ひっぽを元気にしたい！ (NPO 法人そのつ森) ●不登校を抱える母子家庭の支援を考える 土佐昭一郎 (NPO 法人ミヤギユースセンター)
11 月号	●誰も排除されることがない希望ある社会を目指して 小椋亘 (NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN) ●あらゆる性、あらゆる価値観が尊重される社会へ (Anego) ●SAVE JAPAN プロジェクト ふゆみずたんぼで稲刈り
12 月号	●センダイほろ酔い寄付キャンペーン

1 月 号	●新しい寄付のカタチが見えてきた!?センダイほろ酔い寄付キャンペーン実施報告 ●ゆるる的「異論！提案！オブジェクション！」 ・なん年経っても絶対忘れられないこと。 目黒久美子 ・3.11 後の市民の力 中川政治
2 月 号	●ゆるる的異論・提案・オブジェクション ・障害者差別はなくなったのか 飯嶋茂 ・大切なことを「路上」から教わった 青木康弘 ・知って、考えて、行動へ 中村祥子
3 月 号	●あなたの声を次の世代へ 伊藤清一 ●何はともあれ、心と体が健康でなければ始まらない 黒森きのこ ●卒刊にあたり この20年で市民意識は醸成してきたのか 大久保朝江

① 「みやぎ NPO プラザページ」

宮城県の NPO 支援拠点「みやぎ NPO プラザ」からページとして NPO 関連情報を掲載
仕様：A4 判 1 色 1 頁（『月刊杜の伝言板ゆるる』の 8 頁）

【掲載内容】

6 月号	新入居団体紹介 NPO 法人東北の造形作家を支援する会～新たな始まり～
7 月号	支援力アップを目指して！ NPO 支援のための基礎研修開催
8 月号	市民活動 困ったときは まずプラザ
9 月号	活動の幅を広げる 「交流サロン」「会議室」活用術
10 月号	短期ショップ 使い方は∞無限大
11 月号	新入居団体紹介 せんだいこども食堂 ～子どもたちにホッとできる場所を～
12 月号	10/21 開催!! 「N カフェ～はじめてみよう！NPO でボランティア～」
1 月号	活動を飛躍させる！トライアルの場に
2 月号	今年こそ、NPO でボランティアデビュー！
3 月号	2/17 開催 N カフェ Part2～NPO を知ってボランティアを始めよう～

② 「information」

助成金情報コーナーや各市民活動団体から寄せられるボランティア募集情報等を掲載

【掲載数】

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
info	26	26	27	28	26	25	25	25	25	25	258
助成金	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	59

③ 広告協賛

バックページおよび information 下欄を活用し、希望する市民活動団体や企業、行政等に告知ページとして有料で提供している。今回は下記 3 団体のほか、みやぎ NPO プラザの広報誌面として提供した。

- ・ 東北労働金庫 6 月号、9 月号、12 月号、2018 年 3 月号
- ・ 日本政策金融公庫 8 月号
- ・ かほく「108」クラブ 2018 年 3 月号 ・みやぎ NPO プラザ

(2) 河北新報夕刊「NPO の杜」の掲載

河北新報社が発行する河北新報夕刊月曜版に NPO に関するコラム「NPO の杜」（5 面）のコーナーを開始。ボランティア活動・市民活動の情報発信をミッションの一つに掲げる当法人としては、依頼により執筆を担当している。

【掲載一覧】

回数	掲載日(月曜)	タイトル	団体名
32	6月5日	眠っている預金確認を	
33	6月12日	重症児の生涯を支える	特例認定 NPO 法人あいの実
34	6月19日	「あかねの思い」を伝える	認定 NPO 法人あかねグループ
35	6月26日	置いてけぼりにしない	NPO 法人ミヤギユースセンター
36	7月3日	困ったときはお互いさま	NPO 法人地域生活支援オレンジねっと
37	7月10日	町内会と市民活動	
38	7月24日	全ての人にアートを	NPO 法人アートワークショップすんぷちょ
39	7月31日	あなたの心に寄り添う	NPO 法人仙台傾聴の会
40	8月7日	生産者と消費者結ぶ	食育 NPO 「おむすび」
41	8月14日	障害ある人も共に働く	特例認定 NPO 法人麦の会
42	8月21日	活動維持へ寄付の協力を	
43	8月28日	社会とつながりながら	NPO 法人シャロームの会
44	9月4日	助け合いの輪を広げたい	NPO 法人ゆうあんどあい
45	9月11日	音楽の神様の願い	特例認定 NPO 法人ミューズの夢
46	9月25日	違い恐れずわが子愛して	宮城県自閉症協会
47	10月2日	SDGs って？	
48	10月16日	「孤独な子育て」解消へ支援	一般社団法人マザーウイング
49	10月23日	ペットと開く心の扉	NPO 法人エーキューブ
50	10月30日	子どもの防災教育に力	NPO 法人防災士会みやぎ
51	11月6日	重病の子のきょうだいのために	NPO 法人ワンダーポケット
52	11月13日	身近な NPO に共感を	
53	11月20日	見えない壁を越えて	NPO 法人ほっぷの森
54	11月27日	障害者の工賃を上げたい	NPO 法人みやぎセルフ協働受注センター等
55	12月4日	ほろ酔い寄付キャンペーン！	
56	12月11日	子どもの声に耳を傾けて	NPO 法人チャイルドラインみやぎ
57	12月18日	年末に向け思うこと	
58	12月25日	働き方を生み出す	認定 NPO 法人ビートスイッチ
59	1月15日	知ることは、身を守ること	NPO 法人地域情報モラルネットワーク
60	1月22日	飲酒の悩みを語り合う	NPO 法人宮城県断酒会
61	1月29日	垣根越え共に音楽表現	NPO 法人とっておきの音楽祭
62	2月5日	「みやチャレ」の季節	
63	2月19日	性暴力 一人で苦しまないで	NPO 法人ハーティ仙台
64	2月26日	子どもの貧困を断ち切る	
65	3月5日	誰もが観光を楽しめる宮城に	NPO 法人バリアフリースターセンター
66	3月12日	私にもできる環境保護	ACT53 仙台
67	3月19日	春休みに心配なこと	
68	3月26日	父子家庭を取り巻く現状	一般社団法人パーソナルサポートセンター

2. 人材育成事業

(1) NPO で高校生の夏ボラ体験 2017 プログラム

将来、地域の担い手となる若年層が NPO に出会うきっかけを作るため、2003 年から始めた「NPO で高校生の夏ボラ体験」プログラムは、今年度で 15 回目を迎え、通算で 1882 名の参加者となった。

共催： かほく「108」クラブ

協賛： 東北労働金庫

後援： 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 栗原市教育委員会 登米市教育委員会
大崎市教育委員会 石巻市教育委員会 名取市教育委員会 岩沼市教育委員会
利府町教育委員会 大河原町教育委員会 山元町教育委員会

事前学習会： 7 月 15 日、16 日（仙台）、17 日（石巻）

体験期間： 7 月 21 日～8 月 26 日

受入団体： 31 団体（受け入れ希望団体数は 35 だったが、マッチング不可およびキャンセル発生のため、4 団体受入なし）

活動分野内訳：子ども 7 団体、国際交流 2 団体、高齢者 1 団体、環境 1 団体、
高齢者福祉 9 団体、ホームレス支援 2 団体、中間支援 3 団体、障がい児・
者支援 5 団体、復興支援 1 団体

体験者数： 106 名

参加高校数： 28 校

ボランティア参加日数と人数：

106 名中 (2017 年度)	1 日体験	2 日体験	3 日体験
	3 名 (2.8%)	32 名 (30.2%)	71 名 (67.0%)

■「NPO で高校生の夏ボラ体験 2017 体験談集」を発行

体験談集仕様：A5 判 1 色 140 頁 500 部

体験談数：73 名の体験談を掲載

配布先：参加高校生、受け入れ団体、県内全高等学校など

【事業成果】

今年度は「みやぎ総文」「南東北インターハイ」の開催が夏ボラの時期と重なることから、高校生の参加者減が想定されたため、例年通りに実施するか、形を変えて実施するかを検討した結果、スタートが遅れたが例年通りに実施。

募集要項の配布から事前学習会開催までの期間も例年よりも短かったため、事前学習会前のキャンセルが多かった。

また、受け入れ団体や各高校と十分なコミュニケーションを取る余裕がなかった。

(2) みやぎ NPO 経営ゼミ

～タケダ・いのちとくらし再生プログラム 組織基盤強化事業（第 2 期）～

東日本大震災により被災した地域の復興のため、武田薬品工業株式会社からの寄付をもとに「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」の第2期の組織基盤強化事業の一環として、認定NPO 法人日本NPO センター（東京）が被災地3県（岩手・宮城・福島）の中間支援組織と協働で実施する事業。

復興に向け被災地で活動している市民活動団体、特に今後を担っていく組織のリーダーを育成し、活動を継続し、他団体との連携強化につなげていくことを目的としている。宮城県ではみやぎNPO 経営ゼミと称し、当法人が事務局として運営した。

【第2期みやぎNPO 経営ゼミ】2017年6月～2017年3月（全10回）

育成メンバー：5団体 5名

	開催日	内容
1回	2017/6/1	「団体及び参加者の課題を認識し、弱点を強化するための学びを企画する」 コーディネーター：大久保朝江（杜の伝言板ゆるる代表理事）
2回	2017/6/15・ 6/16	6/15「NPO 経営ゼミで得たものとは」 話題提供：2016年度NPO 経営ゼミ生 6/16「組織の課題に対する自分の取組み」 コーディネーター：田尻佳史氏（日本NPO センター 特任理事）、大久保朝江（杜の伝言板ゆるる代表理事）
3回	2017/7/8	「NPO の経営者として人と事業の関係性を考える」 講師：片山信彦氏（NPO 法人ワールド・ビジョン・ジャパン 常務執行役）
4回	2017/9/22	「被災地におけるNPO 経営に必要とされる組織基盤とは」 講師：田尻佳史氏（日本NPO センター 特任理事）
5回	2017/10/24	「市民ボランティアが主体的に団体で参画し活動する仕組みをつくるためにどのような視点を持てばいいのか」 講師：後藤麻理子氏（認定NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長）
6回	2017/11/21	「収益事業開発／ファンドレイジング」 講師：永沢映氏（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事）
7回	2017/12/15	「『お客様』時代のNPO マネジメント～社会の流れに飲み込まれないリスク マネジメント・事業構築」 講師：西川正氏（認定NPO 法人ハンズオン埼玉 理事）
8回	2018/1/23	「中期計画（3カ年計画）策定」 講師：田口由紀絵氏（公益財団法人パブリックリソース財団 事務局長）
9回	2018/3/2・3/3	「フィールドワーク」 視察先：NPO 法人情報ステーション（千葉県船橋市）、NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター（新潟県村上市）
10回	2018/3/28	「1年間の振り返り」 コーディネーター：大久保朝江（杜の伝言板ゆるる 代表理事）

【事業成果】

2期生は、選考の遅れにより1名が第2回からの参加となったほか、自団体の事業が多忙になったため、1名が第8回以降離脱した。4人のゼミ生は全回に参加した。それぞれの団体が抱えている課題、今後の目標・計画などを、具体的に考える機会を提供することができた。今後は参加メンバーの関係性をより深め、県内の次世代の担い手を応援していく。

（３）平成 29 年度仙台市協働人材育成事業への協力

仙台市職員を NPO 等市民活動団体に派遣することにより、実体験をとおして NPO 等に対する理解を深めるとともに、市民協働に関する理解や必要性の認識を高めることで、庁内で協働を推進する人材を幅広く育成することを目的に行っている事業。当法人は 2 名を受入れた。

受入状況：青葉区保健福祉センター保護第一課 1 名（男性）

太白区区民部まちづくり推進課 1 名（男性）

活動日：10 月 11 日～11 月 29 日の期間中にそれぞれ 5 日間ずつ活動

1 月 30 日の報告会にも出席

活動内容：・月刊杜の伝言板ゆるる 取材、原稿執筆、校正

・夏ボラ体験談集 編集、校正 など

【事業成果】

仙台市職員に、取材や執筆を通して NPO や NPO を支援する中間支援の役割を理解してもらう機会となった。ただ、まだ若手の職員なので、これからに期待したいが、当 NPO にとっては、もっと行政らしい話も知る機会としたかった。

3. NPO の組織基盤整備支援事業

（１）平成 29 年度仙台市 NPO 法人組織基盤安定化事業（仙台市と協働）

仙台市内の特定非営利活動法人（NPO 法人）の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を安定したものにし、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につながることを目的とした事業。仙台市と当法人が主催として協働で実施した。

事業期間：2017 年 7 月 26 日から 2018 年 3 月 15 日まで

会場：仙台市市民活動サポートセンター、エル・ソーラ仙台、みやぎ NPO プラザ

対象：仙台市内の NPO 法人（概ね設立 3 年程度の仙台市所轄の NPO 法人を主に）

① 講座の開催

i) 会計講座

日常的な日々の金銭管理の方法から決算まで、正確な会計処理を行う方法を学ぶことを目的に以下の講座を、基礎編（午前）・応用編（午後）の 1 日型で開催。

内容：「会計とは」、「現金・預金管理」、「帳簿の付け方」、「証憑書類（領収書など）の整理」、「決算の流れ」、「NPO 法人の財務諸表」、「試算表の作り方」、「年度をまたぐお金などの決算時に注意すべきポイント」 など

日時	講座名	講師	参加団体数
11 月 9 日（木） 10：00～12：00 13：30～16：30	初心者でもわかる「NPO 会計」集中セミナー	小野 恵子さん （会計サポーター）	基礎編 16 団体 17 名 応用編 15 団体 16 名 （のべ 31 団体 33 名）

ii) 税務講座

日時	講座名	講師	参加団体数
12月7日(木) 14:00～16:00	押さえておきたい NPO 法人の「税務手続き」解説セミナー	田中 武司さん (税理士)	13 団体 15 名

内容：NPO 法人に関する様々な税金の基礎、手続き、スケジュールなど

iii) 労務講座

日時	講座名	講師	参加団体数
3月7日(水) 13:30～15:30	NPO も知らなすぎやいけない「雇用・労務」 のキホン	黒政 健さん (社会保険労務士)	13 団体 15 名

内容：雇用に係る手続きや各種保険制度の概要、就業規則の記載方法など

iv) 事務局運営講座

NPO 法人の年間スケジュールなど基本的な事務力を養うものと、法改正により対応が差し迫っていた定款変更にて化するものの 2 種類の講座を下記のように実施。

日時	講座名	講師	参加団体数
9月28日(木) 14:00～16:00	NPO 法人の「事務力」向上セミナー	大久保 朝江 (認定 NPO 法人杜の伝言板 ゆるる 代表理事)	13 団体 14 名

内容：年間を通した事務局業務の確認や、所轄庁・法務局への手続き、提出書類についてなど

日時	講座名	講師	参加団体数
2月22日(木) 14:00～16:00	今やらないと間に合わない！「定款」 再点検セミナー	大久保 朝江 (認定 NPO 法人杜の伝言板 ゆるる 代表理事)	29 団体 31 名

内容：H30 年 10 月から施行となる貸借対照表の公告方法を定めるための定款変更を中心に、定期的に見直したほうがよいポイント など

v) 認定・仮認定の取得促進

日時	講座名	講師	参加団体数
10月27日(金) 14:00～16:00	ゼロから学ぶ「認定 NPO 法人」セミナ ー	大久保 朝江 (認定 NPO 法人杜の伝言板 ゆるる 代表理事)	8 団体 9 名

内容：認定 NPO 法人制度の概要やメリット、申請時の要件・必要書類・申請スケジュール等

vi) その他

日時	講座名	講師	参加団体数
1月22日(月) 13:30～16:30	実体験から考える よりよい「理事会運営」のあり方	大久保 朝江 (認定 NPO 法人杜 の伝言板ゆるる代表理事) ゲスト：小玉 順子さん (NPO 法人おおさき地域創造研 究会 事務局長) 坂口 和隆さん (認定 NPO 法人日本 NPO センタ ー 法人運営チームリーダー)	13 団体 14 名

内容：理事の役割と責任、理事会運営における成功談・失敗談など、自団体の理事会のあり方を考え直す

②個別相談会の実施

専門家に相談依頼のできない予算規模の脆弱な NPO 法人のために、仙台市所管の NPO 法人を対象に専門家対応の個別相談会（無料）を開催し、個別の案件に対応した。

i) 会計・税務相談

相談団体数：7 団体

相 談 員：平野由紀子さん（税理士）、田中武司さん（税理士）

相 談 時 間：1 団体 1 時間

ii) 労務相談

相談団体数：3 団体

相 談 員：黒政健さん（社会保険労務士）

相 談 時 間：1 団体 1 時間

iii) NPO 運営相談

相談団体数：3 団体

相 談 員：大久保朝江（認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる 代表理事）

相 談 時 間：1 団体 1 時間

【事業成果】

3 年目となった今年度は、セミナー・相談会参加団体、参加者数がこれまでで最多となった。

（2）宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業（マッチング・交流）

（委託先：宮城県）

震災復興を行う NPO 等が今後も継続して活動していくことを目的に、企業・NPO・行政など震災復興支援の担い手となる主体同士が交流し、これからの震災復興支援を考えるための交流会を県内の 3 地域（石巻市、気仙沼市、仙台市）で開催した。

事業期間：2017 年 11 月 9 日～2018 年 3 月 26 日

①「復興」を考えるミーティング in 石巻の開催

日時：2018 年 2 月 15 日（木）13：30～16：30

会場：石巻専修大学 4 号館 4102 教室・4103 教室

参加者数：48 人

内容：「はじめて学ぶ SDGs」

講師：新田英理子さん

（一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 地域連携アドバイザー）

「SDGs と地域協働を理解するための事例紹介」

事例紹介者：

橋本大吾さん（一般社団法人りぷらす 代表理事）

千葉裕貴さん（NPO 法人中山街づくりセンター 理事）

「復興の先をともに考える交流会」

②「復興」を考えるミーティング in 気仙沼の開催

日時：2018年2月19日（月）13：30～16：30

会場：気仙沼市役所 ワン・テン庁舎 大ホール

参加者数：56人

内容：「はじめて学ぶSDGs」

講師：新田英理子さん

（一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク 地域連携アドバイザー）

「SDGsと地域協働を理解するための事例紹介」

事例紹介者：戸野憲一さん

（株式会社デンソー 新事業推進部セキュリティ事業室 担当課長）

金藤克也さん（一般社団法人さとうみファーム 代表理事）

・「復興」の先をともに考える交流会

②「復興」を考えるミーティング in 仙台の開催

日時：2018年3月15日（木）10：00～17：00

会場：せんだいメディアテーク オープンスクエア

参加者数：106人（のべカウントでは357人）

内容：「絆力を活かした震災復興支援事業報告会」

平成29年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業（補助金）に採択された14団体および委託事業を実施した杜の伝言板ゆるるの計15団体が1年間の事業成果を報告した。

「SDGs視点で考える復興支援」

講師：黒田かをりさん

（一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク代表理事）

「SDGsと地域協働を理解するための事例紹介」

事例紹介者：小椋亘さん（NPO法人ふうどばんく東北 AGAIN 事務局）

・「復興」の先をともに考える交流会

【事業成果】

3会場ともに定員を超える参加者があった。

また、これまでまだ理解が進んでいなかったSDGsを各地域で紹介し、これからの復興支援を考える上で一つのツールと捉えてもらうことができた。

（3）宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業（情報収集・提供）

（委託先：宮城県）

現在復興・被災者支援活動しているNPO等が活動を継続していくことを目的に、今後の活動に役立つ情報誌及びweb版を発行したほか、「宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」平成28年度、平成29年度の成果報告書を作成した。

事業期間：2017年11月1日～2018年3月30日

①冊子『復興ing』の作成・提供

【冊子仕様（各号共通）】

装丁：A4 判 ページ数：8 ページ カラー：4 色 綴じ：スクラム製本

掲載事例数：3 事例

送付先：被災地で活動する NPO など約 140 か所、PDF 版を宮城県 HP へ掲載

【Vol.1（2017 年 12 月 14 日発行、500 部）】

掲載内容：

- ・「地道な信頼構築がパートナーとしての関係性につながる」（NPO 法人ベビースマイル 石巻）
- ・「育てる、食べる、活かす、をつなぎ『共生』を实践する牧場で雇用創出」（一般社団法人さとうみファーム）
- ・「『理想＋効果の可視化』が外部支援・協働の鍵となる」（一般社団法人りぷらす）
- ・専門家コメント「被災地でいかにソーシャル・ビジネスを継続させるか」（東北大学大学院経済学研究科准教授 高浦康有さん）

【Vol.2（2018 年 1 月 18 日発行、600 部）】

掲載内容：

- ・「地域の宝はシニアの力 いきいきと活躍できる居場所であれ」（NPO 法人びば!!南三陸）
- ・「組織の舵を切ることでパートナーを見定めた」（一般社団法人 Bridge for Fukushima）
- ・「食堂運営から地域コミュニティの拠点へ」（一般社団法人ワタマスマイル）
- ・専門家コメント「復興支援 NPO が継続活動していくための 9 つの前提要件」（中小企業診断士・経営コンサルティング波多野事務所代表 波多野卓司さん）

【Vol.3（2018 年 2 月 20 日発行、600 部）】

掲載内容：

- ・「震災後の市民による主体的なふるさとづくりを加速させるために」（NPO 法人石巻復興支援ネットワーク）
- ・「スペインタイルで町を彩り、人を呼ぶ」（NPO 法人みなとまちセラミカ工房）
- ・「古民家の再生で地域の活性化」（NPO 法人中之作プロジェクト）
- ・専門家コメント「クラフト（工芸）としての復興戦略」（東北大学大学院経済学研究科准教授 高浦康有さん）

【Vol.4（2018 年 3 月 29 日発行、600 部）】

掲載内容：

- ・「戦略的な行政との連携策が、子どもたちを救う必要な手立てとなる」（NPO 法人 TEDIC）
- ・「必要な支援がなければみんなでつくり、制度へと昇華させる」（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン）
- ・「森林資源は生業をすることで自然の豊かさにつながる」（NPO 法人吉里吉里国）
- ・専門家コメント「新たな価値を生み出す“ノットワーキング”」（東北大学大学院経済学研究科准教授 高浦康有さん）

②『平成 28 年度・29 年度 宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業成果報告書』の作成

【報告書仕様】

判型：A4 ページ数：32 ページ カラー：4 色 綴じ：中綴じ製本 発行部数：300 部
内容：

平成 28 年度、平成 29 年度のそれぞれにおいて、宮城県 NPO 等の絆力を活かした震災復興支援事業（補助金）に採択された合計 28 事業（平成 28 年度 14 事業、平成 29 年度 14 事業）の事業概要および事業成果を、1 事業 1 ページのボリュームで掲載した。

【事業成果】

これまで震災復興支援を行う NPO 等の活動の継続性に焦点をあて、そのモデルケースを抽出し、かつ、読みやすいボリュームにまとめた印刷物はなかったため、本事業によって冊子および PDF データとして web で公開されたことは意義ある。

（4）会計サポーター派遣事業

2010 年度から養成した会計サポーターが 2018 年 3 月末現在 12 人の登録あり、会計の実務処理を有償で請負い、会計の専従スタッフがいない NPO の会計処理をサポートしている。但し、当面は仙台市内の団体を対象とした。

① 支援内容

- ・活動決算書作成や会計処理の指導
会計やお金の管理、仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス、会計ソフトの導入支援
活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポートほか
- ・経理事務代行
記帳代行、領収証・請求書整理、決算書作成、会計ソフトの初期設定ほか

② 派遣態勢

- ・通常派遣（単発）
サポート料金：派遣 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円
会計ソフト初期設定 5,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回
サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【2017 年度実績】 派遣団体数：12 団体

派遣回数：13 回 派遣サポーター：3 名

- ・経理事務代行

サポート料金：年間登録料 10,000 円（税別）
訪問 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円
会計ソフト初期設定 5,000 円/1 回、決算書作成 10,000 円/1 回
サポーターの交通費は依頼 NPO が実費負担

【2017 年度実績】 派遣団体数：1 団体 派遣サポーター：1 名

派遣回数：8 回

【事業成果】

事業年度変更の影響はあるものの、昨年度の派遣実績（39 回）に比べて大幅に派遣回数が下がってしまった。より多くの NPO の要望に応えたいが、派遣できる会計サポーターが十分ではないうえ、対応できる人材の育成が必須となっている。

4. 調査研究・講師派遣・コンサルティング事業

(1) 講師等の派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演や研修などの講師を派遣した。

月日	派遣先
6 月 16 日	NPO 法人ジェットみやぎ講演会
6 月 26 日	せんだい豊齢学園講座企画講座
7 月 7 日	みやぎ NPO プラザ 認定 NPO 法人講座
7 月 19 日	宮城いきいき学園仙南校講座
9 月 1 日	とめシニア・アカデミー開校式・講座
9 月 4 日	せんだい豊齢学園 ワークショップ講師
9 月 5 日	東北文化学園大学 講師
9 月 21 日	名取市市民活動サポートセンター相談対応
9 月 25 日	せんだい豊齢学園 ワークショップ講師
9 月 28 日	仙台市 NPO 法人の「事務力」向上セミナー講師
10 月 4 日	とめシニア・アカデミー講座
10 月 4 日	南三陸シニア・アカデミー講座
10 月 11 日	宮城県社会福祉協議会ボランティアコーディネーター研修会講師
10 月 12 日	仙台市社協泉区社協主催講座講師
10 月 27 日	仙台市主催 ゼロから学ぶ「認定 NPO 法人」セミナー講師
11 月 10 日	南相馬市市民活動交流センター講座講師
11 月 13 日	南三陸シニア・アカデミー講座
11 月 16 日	仙台市 「NPO 運営個別相談」対応
11 月 21 日	みやぎ NPO プラザ「支援を呼び込む NPO になるための共感を呼ぶ講座」
11 月 22 日	名取市市民活動サポートセンター相談対応
12 月 6 日	南三陸シニア・アカデミー講座
1 月 12 日	復興庁 浜通り交流会セミナー（南相馬市）講師
1 月 19 日	復興庁 浜通り交流会セミナー（いわき市）講師
1 月 22 日	仙台市主催 理事会運営の在り方講座
1 月 25 日	タケダいのちとくらしプロジェクト座談会出席
2 月 22 日	仙台市主催 定款再点検セミナー
3 月 2 日	名取市市民活動サポートセンター相談対応
3 月 8 日	復興庁 浜通り交流会セミナー（南相馬市）講師
3 月 13 日	大崎地域づくり団体協議会研修会講師
3 月 14 日	とめシニア・アカデミー バスツアーコーディネート
3 月 16 日	みやぎ NPO プラザマネジメント講座 講演
3 月 20 日	復興庁 浜通り交流会セミナー（広野町）講師
3 月 23 日	名取市市民活動サポートセンター相談対応

(2) 組織診断及び相談・アドバイス対応

- ① NPO の事業や組織運営について組織診断を実施し、個別に相談対応をした。

実績：NPO 法人仙台夜まわりグループ
NPO 法人みんなのひろば（福島県）

(3) ヒアリング対応

中間支援組織として宮城県内の復興支援の NPO 活動に関するヒアリングのほか、NPO の現状や当法人の組織運営に関する調査などに対応した。

- 6月1日 (株)フィデア総合研究所 熊本氏来訪 季刊誌取材
 7月26日 日本政策金融公庫(株) 松重氏来訪
 10月4日 岩手県 NPO 担当部署職員ヒアリング
 1月17日 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団 インターンシップ・プログラムに関するヒアリング

6. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎNPOプラザ）の管理運営（宮城県指定管理者）

2016年4月からの指定管理者（4期目）2年目。2017年度は、NPOの信頼性を高めるために団体の情報公開を促進するための支援や、次世代のNPO・市民活動の担い手創出に関する取り組み、組織基盤の強化に結び付く事業展開を進めた。

① 施設管理

i) 施設利用状況

事務ブースやショップ、レストランの使用者の減が影響して年間の利用者は、前年度より2,151名減。1ヶ月平均の利用者は3,097名で、前年度より989名の減。

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
H29合計	40	2	9,228	1,934	2,245	1,171	421	844	4	14,000	426	1,228	2,561	1,689	2,513	2,031	6,553	46,890
H28合計	61	0	9,600	1,892	2,285	1,021	375	836	7	13,880	356	1,328	2,564	1,716	3,351	2,686	7,083	49,041
H27合計	50	2	9,939	2,099	1,724	1,075	284	779	10	14,636	300	1,708	2,290	1,701	3,165	2,354	9,374	51,490

ii) 会議室利用状況

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
H29合計	291	5,103	1,179	216	4,701	806	127	780	306	228	1,119	685	305	2,297	929	1,167	14,000	3,905
H28合計	282	5,257	1,145	212	4,305	854	116	775	315	175	1,367	453	310	2,176	915	1,095	13,880	3,682
H27合計	295	5,270	1,127	213	4,636	773	152	986	449	211	1,478	623	303	2,266	932	1,174	14,636	3,904

iii) コピー機・印刷機

	コピー機				印刷機				
	モノクロ(枚)	カラー(枚)	合計(枚)	トナー(本)	利用件数(件)	製版数(枚)	印刷枚数(枚)	インク(本)	マスター(本)
H29合計	10,727	872	11,599	2	930	5,378	1,364,029	83	25
H28合計	12,202	400	12,602	4	916	4,729	1,167,160	64	20
H27合計	11,687	944	12,631	3	1,059	5,808	1,525,245	95	26

iv) 事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。

v) 施設見学および運営ヒアリング

施設見学は15件（NPO8件、行政6件、学校関係1件）、40名に対応。

vi) 事務室等使用団体選考審査会

2017年8月、10月、2018年23月の3回、公募し、選考審査会において決定。

② インターネット情報サイト（みやぎNPO情報ネット）運用業務

i) みやぎNPO情報ネット更新件数

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
H29合計	261,591	3,709,783	78,625	160	223	966	443	3,372	199	94	34	14	40	16	249	5,810	316	60
H28合計	278,913	2,785,904	89,885	292	228	809	424	3,167	220	116	66	25	28	14	300	5,689	301	60
H27合計	290,597	1,374,371	89,406	255	229	727	376	2,573	292	167	54	14	17	52	356	5,112	302	60

ii) みやぎNPO情報ネットメールマガジン

	NPO支援情報 (トビックス)	プラザからのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H29合計	48	126	258	34	0	466
H28合計	39	113	205	25	1	383
H27合計	42	76	149	41	1	309

※H29 登録者数：H28 年度末時点の総登録者数 821 名 + H28 年登録増加数 41 名 = 862 名

iii) みやぎNPOプラザブログ～おむすび日記～

	新規エントリー数						合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	全館イベント	助成金情報	NPO法人 認証情報	講座レポート	
H29合計	28	132	3	68	11	14	256
H28合計	41	76	10	72	10	18	227
H27合計	16	91	19	46	10	17	199

iv) みやぎNPOプラザ Facebook

みやぎNPOプラザの日常の様子や実施講座の告知、ブログの更新状況を拡散する手段として活用し、年間 310 件発信した。

③ みやぎNPOプラザの情報誌編集・発行業務

i) One to One 発行

- ・発行日：年 6 回 奇数月の 1 日
- ・発行部数：3,000 部
- ・仕様：A3 版 2 ツ折り フルカラー印刷

ii) 月刊杜の伝言板ゆるるプラザページ

- ・発行日：毎月 1 日
- ・発行部数：9,000 部
- ・仕様：A4 版 1 ページ カラー1 色印刷

※主な配布先

県内各市町村（42 箇所）、県地方振興事務所（7 箇所）、県内NPO支援施設（12 施設）、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設（7 施設）、仙台市市民センター、県外のNPO支援施設・団体（15 箇所）など

④ NPOの促進・団体の育成等に関する相談業務

i) 専門相談

会計・税務相談：18 件（年 6 回）

認定NPO法人申請相談：4件（随時）

法律相談：6件（年2回）

法人設立・団体運営相談：56件（毎週水曜日）

※1団体1時間、認定NPO法人相談、法律相談は1回1,000円

ii) 窓口相談

窓口や電話での相談には、スタッフが対応。

2017年4月～2018年3月 280件

⑤ NPOの促進・団体内の育成等に関する業務

i) NPO運営のためのマネジメント講座

NPOの運営一般、人材育成に関する「NPOマネジメント講座」を、6講座開催した。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	認定取得への第一歩！認定NPO法人講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年7月7日(金)14:00～16:00	24
2	そなえて安心！NPOのためのリスク管理講座	藤田亮氏(弁護士)	平成29年8月31日(木)13:30～15:30	25
3	市民が応援したくなるNPOになる方法	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年11月21日(火)14:00～16:00	28
4	基本をおさえる！NPO法人設立講座	堀川晴代(みやぎNPOプラザ副館長)	平成29年12月6日(水)14:00～16:00	24
5	仲間の輪が広がる ボランティアコーディネート講座	堀川晴代(みやぎNPOプラザ副館長)	平成30年2月20日(火)14:00～16:00	24
6	今から準備を！NPOのための総会運営講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成30年3月16日(金)14:00～16:00	24

参加者合計 149

平均 24.8

ii) NPOの会計・税務・決算等の講座

NPOの会計・税務に関する「NPOのための会計税務講座」を、6講座開催した。

	講座名	講師名	日時	参加者数
1	NPOのための会計監査講座 ～プロが伝える、監査のやり方・受け方～	橋本潤子氏(公認会計士)	平成29年4月19日(水)13:30～16:30	23
2	NPO・市民活動団体のための会計初級講座	小野恵子氏(会計サポーター)	平成29年5月19日(金)13:30～16:30	17
3	信頼されるNPOになる!!お金の管理のしくみ講座	成田由加里氏(公認会計士・税理士)	平成29年9月30日(土)13:00～16:00	23
4	疑問を解消！NPOのための税金初級講座	平野由紀子氏(税理士)	平成29年10月19日(木)13:30～16:30	21
5	NPOのための決算書作成初級講座in大崎	小野恵子氏(会計サポーター)	平成30年1月30日(火)13:00～15:30	15
6	NPO法人のための決算書作成講座	小野恵子氏(会計サポーター)	平成30年3月9日(金)13:00～16:30	27

参加者合計 126

平均 21.0

⑥ NPOに関する行政職員の理解促進事業

	講座名	講師	日時	参加者数
1	行政職員のためのNPO理解講座	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年5月31日(水)13:30～15:30 ※宮城県本町分庁舎で開催	49

⑦ NPO支援施設および中間支援組織の育成支援事業

i) NPO支援センター研修

	講座名	講師	日時	参加者数
1	NPO支援のための基礎研修	大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長)	平成29年6月15日(木)13:30～15:30	12

ii) NPO支援センターとの連携および育成支援

「One to one」で、毎号に県内の市民活動支援センターの活動状況を紹介。

大崎市市民活動サポートセンターの「第12回おおさき市民活動のつどい」に参加。

⑧ みやぎNPOプラザNPOフォーラムを開催

i) 事業概要

タイトル	みやぎNPOフォーラム2017 NPOで働く人たちのための大交流会～未来に向かって、語り合おう！～	
目的	NPOセクターで働くスタッフが集い、交流することで、働くことの悩みや課題の解決の糸口を探り、それぞれの活動に還元することと、次世代のNPO活動の担い手育成。	
事業概要	日時	11月25日(土) 13:30～17:30
	会場	みやぎNPOプラザ交流サロン
	参加費	無料(交流会は500円)
	対象	NPOで働く(雇用されている)スタッフ約30名
	参加者数	19団体24名 問題提起: 18団体22名、ワールドカフェ: 16団体20名、交流会: 13団体16名
事業概要	内容	1. 問題提起 (30分) 「NPOで働くことの魅力と課題」 講師: 上田英司氏 (認定NPO法人日本NPOセンター事務局次長) 2. ワールドカフェ (135分) 「力が発揮できる働き方を考える」 参加者が自分の想いや悩みを吐き出し、他者と共有しながら、今後NPOで働くうえでの工夫点を考える、少しでも前向きな気持ちになるためのワールドカフェ。 メインホスト: 上田英司氏 テーブルホスト: NPO法人杜の伝言板ゆるるスタッフ5名 3. 交流会

⑨ ボランティア育成事業

i) 市民活動サロン

市民を対象に、市民活動やNPOへの理解を促し、市民活動への参画促進。

タイトル	第1回市民活動サロン「Nカフェ ～はじめてみよう、NPOでボランティア～」
日時	10月21日(土) 13:30～16:30
会場	みやぎNPOプラザ交流サロン
参加費	700円
対象	市民活動に関心のある市民
参加者数	27名
ゲスト	荒川陽子さん(NPO法人地域生活支援オレンジねっと理事長) 佐々木綾子さん(NPO法人STORIA副代表理事) 藤原未由希さん(NPO法人ワンファミリー仙台相談支援員)
内容	・NPOとボランティアのいろは(プラザスタッフによる説明) ・ゲスト団体の活動やボランティアプログラム紹介 ・ワークショップ「ゲストへの質問タイム」(1グループ20分×3回)

タイトル	第2回市民活動サロン「Nカフェ～NPOを知ってボランティアを始めよう」
日時	2月17日(土) 13:30～16:00
会場	みやぎNPO交流サロン
参加費	700円
対象	市民活動に関心のある市民

参加者数	19 名
ゲ ス ト	中澤八榮さん（仙台に夜間中学をつくり育てる会代表） 小岩孝子さん（NPO法人FOR YOUにこの家理事長） 根本暁生さん（NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク理事）
内 容	・ NPOとボランティアのいろは（プラザスタッフによる説明） ・ ゲスト団体の活動やボランティアプログラム紹介 ・ ワークショップ「ゲストへの質問タイム」（1 グループ 20 分×3 回）

⑩ みやぎNPOプラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年 2 回開催した。

- ・ 第 1 回：5 月 23 日（火）10：00～12：00
- ・ 第 2 回：1 月 23 日（金）13：00～15：00

⑪ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

i) 利用者懇談会の開催

みやぎNPOプラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催。

日 時	【第 1 回】8 月 23 日（水）18：30～20：00
参加者数	利用者 15 名（13 団体）、スタッフ 4 名 合計 22 名
日 時	【第 2 回】2 月 27 日（火）18：30～20：00
参加者数	7 名（3 団体）、スタッフ 4 名 合計 17 名

ii) NPOの書籍販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む 11 団体。書籍の種類は 17 種類で、63 冊販売した。

【事業成果】

- ・ 法人事務局との連携を常に意識し、特にNPOの組織基盤整備に係る事業は、プラザで実施するものに限らず、NPOに広く情報を提供した。特に会計サポーター事業については、会計税務講座や会計税務相談の利用者にも情報を提供し、各団体の正確な決算書作成につなげた。
- ・ 講座や相談会等の参加者数は、昨年度を上回った。

7. NPO 等連携事業

（1）真如苑「みやぎの居場所づくり助成」事業の事務局運営

- ・ 第 3 回助成団体へ助成金配分、助成事業に関する問合せ対応などを行った
助成団体：2017 年 5 月第 3 回助成団体決定 9 団体（2017/5/30）
- ・ 第 4 回「みやぎの居場所づくり助成」を 18 年 4 月に公募開始した（～5/15）

（2）みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会事務局業務

2012 年に構築した NPO の検索システム「みやぎ NPO ナビ」のシステム運用協議会事務局を担当した。

構成団体：仙台市、気仙沼市、栗原市、登米市、石巻市、大崎市、名取市

認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、
NPO 法人いしのまき NPO センター

運用協議会の運営会議を開催：(2017 年 5 月 17 日 会場：みやぎ NPO プラザ)

2017 年 10 月 31 日 会場：みやぎ NPO プラザ

(3) 助成財団シンポジウム in みやぎを共催

全国各地で「助成財団シンポジウム」を開催している NPO 支援財団研究会（事務局：公益財団法人助成財団センター）との共催の形で「助成財団シンポジウム in みやぎ」を開催した。

日時：2017 年 9 月 2 日（土）13：00～18：00

会場：河北新報社本館ホール

内容：・基調講演「助成金の基礎を知る」（認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 理事 松原明さん）

・助成金を活用して成果をあげた団体からの事例報告

事例 1 かほく「108」ファンド

事例 2 トヨタ財団国内助成プログラム「しらべる助成」

事例 3 損保ジャパン日本興亜福祉財団「NPO 基盤強化資金助成」

・参加者全員による意見交換会

・情報提供

・名刺交換交流会

共催：NPO 支援財団研究会

特別協力：河北新報社

協力：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター

参加者：県内外の NPO 関係者 44 名

参加財団：9 団体

(4) SAVE JAPAN プロジェクトの実施

SAVE JAPAN プロジェクトは、損害保険ジャパン日本興亜株式会社からの協賛を受け、NPO 法人日本 NPO センターと全国の NPO 支援センター、環境 NPO が各地で希少生物の保護活動を行うプロジェクトである。

当法人は、一昨年度に引き続き、本プロジェクトに参加することとなった。今年度は、大崎市田尻で「ふゆみずたんぼ」という自然農法により、大崎市周辺の湿地環境保全、環境サイクルを考慮した食育などを行う NPO 法人田んぼとともに、仙台市近隣の親子を対象とした田植え体験や稲刈り体験を実施した。

共催：NPO 法人田んぼ

協力：認定 NPO 法人日本 NPO センター

協賛：損害保険ジャパン日本興亜株式会社

① ふゆみずたんぼで田植え体験してみよう！

開催日：6 月 4 日（日）8:00～17:00

場所：大崎市田尻

参加者数：39 名

② ふゆみずたんぼで稲刈り&ほんによづくり体験！

開催日：10月15日（日）8:00～16:00

場所：大崎市田尻

参加者数：33名

(5) 「登米シニアセンター構想事業」のサポート及び「南三陸シニア・アカデミー」をサポート（NPO法人とめ市民活動フォーラムより受託）

NPO 法人とめ市民活動フォーラムが主催するシニア世代を対象にした「とめシニア・アカデミー」の人材育成プログラムの講師、及び運営相談、「南三陸シニア・アカデミー」の人材育成講座など講師や相談業務、運営サポートを受託。とめ市民活動フォーラムは公益財団法人 J K A 及び医療福祉機構 WAM から助成金を受け実施。

① 南三陸シニア・アカデミー 「団体づくり講座」に講師を派遣

第1回 10月4日 「シニアの社会参加」

第2回 11月13日 「コミュニティ組織と NPO」

第3回 12月6日 「活動実践の前に」

② とめシニア・アカデミー 講座運営及び相談対応

第1回 9月1日 「シニアの社会参加」

第2回 10月4日 「コミュニティ組織と NPO」

第3回 1月27日 「広報 デザイン講座」

第4回 2月9日 「初級会計講座」

第5回 3月17日 「助成金 活用方法と報告書作成のポイント」

③ プログラム支援

3月14日 先進事例 視察バス研修 企画・引率

(6) その他

① 明治ホールディングスお菓子寄贈プログラム 寄贈団体コーディネート

障がいのある子どもたちへの支援活動をしている NPO および被災地で子どもたちへの支援活動をしている NPO、合わせて3団体を推薦し、決定。

8. その他の支援事業

(1) 寄付月間～Giving December～公式認定企画（主催：寄付月間推進委員会）

全国的なキャンペーンである寄付月間～Giving December～の公式認定企画として、NPO 法人 せんだい・みやぎ NPO センターとともに「センダイほろ酔い寄付キャンペーン」を実施（主体は実行委員会）。

①実施期間：2017年12月1日～16日

②企画内容：仙台市内の飲食店12店舗と協力し、該当店舗にて「ほろ酔い寄付セット」への注文があった場合に、1注文につき50円を5団体の NPO のいずれかへ寄付する。

③寄付先団体

団体数：5 団体

(NPO 法人移動支援 Rera、NPO 法人仙台夜まわりグループ、NPO 法人チャイルドライン みやぎ、NPO 法人とおきの音楽祭、NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN)

④キャンペーン結果

キャンペーンによる寄付金総額：18,150 円

(うち 250 円は投票外の寄付金として実行委員会経費に充当)

キャンペーンの投票総数：358

【事業成果】

仙台で複数の NPO が飲食店と連携し、市民を対象とした寄付キャンペーンを実施し、短い期間ではあったが 1 日あたり 22.3 注文と、一定のリアクションを得ることができた。今後の寄付文化普及に向け、足がかりを作ることができた。

(2) 宮城県「いきいきキャリアアップ事業及びいきいきキャリア応援事業」業務の実施
(委託先：宮城県)

宮城県男女共同参画社会推進課男女共同推進班より同業務を受託し、県内の働く女性たちのキャリアアップ意識を高める「いきいきキャリアアップ事業」と、県内の中小企業等を対象に女性が活躍しやすい環境づくりを促進させる「いきいきキャリア応援事業」を実施した。

①いきいきキャリアアップ事業

下記 2 地域で働く女性に対し、キャリアアップのロールモデルとなる『先輩』をゲストとする研修およびワークショップを行った。

【白石市】 開催日時：2017 年 11 月 15 日 (水) 13：30～16：30
会 場：白石市文化体育活動センター (ホワイトキューブ)
ゲ ス ト：NPO 法人安寿 理事長 遠藤和江さん
参加者数：30 人

【塩竈市】 開催日時：2018 年 1 月 16 日 (火) 13：30～16：30
会 場：塩竈市公民館
ゲ ス ト：社会福祉法人萩の里 理事長 阿部仁美さん
株式会社武田の笹かまぼこ 代表取締役兼女将 武田せつ子さん
参加者数：22 人

②いきいきキャリア応援事業

東松島市周辺の中小企業経営者、人事担当者を対象に、女性が活躍できる職場改善の実績のあるゲストから話を聞くとともにワークショップを行うセミナーを開催した。

開催日時：2018 年 1 月 18 日 (木) 13：30～16：30
会 場：矢本東市民センター
ゲ ス ト：ホシザキ東北株式会社 取締役統括部長 今野浩治さん
管理部総務課課長代理 高橋真弓さん
参加者数：21 人

【事業成果】

地域の企業等で活躍する先輩女性の話を聞き、目標を持って仕事をする事など、参加者自身のキャリアアップに必要なものを認識することができた。

(3) NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

NPO の理解促進及び運営基盤強化につながる冊子等をNPO に販売した。

冊子名	発行者（団体）
NPO 会計基準完全収録版第 2 版	NPO 法人会計基準協議会
会計基準ハンドブック	認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク
知っておきたい NPO のこと「基礎編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 3「協働編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 4「参加編」	NPO 法人日本 NPO センター
知っておきたい NPO のこと 5「評価編」	NPO 法人日本 NPO センター
NPO 法人のための業務チェックリスト	認定 NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク
NPO 会計日誌	NPO 支援東京会議
会計ソフト「会計王」NPO 法人スタイル	ソリマチ株式会社
「Q & A NPO 会計マニュアル」	認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

9. 他団体との連携や政策提言

(1) 多様な団体と連携した活動

① NPO 法人会計基準協議会

世話団体及び幹事団体として、会計基準の普及に取り組んでいる。

- ・ 2 年前より会計基準委員会が取り組んでいる会計基準の見直しに向けて、世話団体会幹事団体として、情報を共有し、進めた。
- ・ 内閣府が主催する NPO 所轄北海道東北ブロックにて、東北・北海道の NPO 支援組織と共に出席し、2018 年度に始まる貸借対照表の公告について意見交換した。

② 日本 NPO センター関連

- ・ 民間 NPO 支援センター・将来を展望する会（CEO 会議）

全国の NPO 支援センターの代表や事務局長が年 3～4 回、1 泊 2 日のスケジュールで、NPO を取り巻く全国の情報や取り組み事例などをテーマに話し合い、地域の NPO 支援に活かしている。

③ NPO の法制度等改革推進会議

- ・ NPO 法制度等改革を全国区で進めて行くにあたり、全国の中間支援組織がネットワークを組み、世話団体会幹事団体として取り組んでいる。

④ みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク

宮城県の地域課題をビジネスの手法で取り組むソーシャルビジネス団体を支援する組織「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」の構成団体として、NPO の基盤整備に繋がる取り組みをしている。

2017 年 9 月 16 日に設立イベントをみやぎ NPO プラザで開催したほか、2018 年 2 月～3 月に、気仙沼、石巻、仙台で、NPO 等への相談を実施した。

構成団体：宮城県、仙台市、日本政策金融公庫、東北税理士会、宮城県行政書士会、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、NPO 法人杜の伝言板ゆるる

⑤ かほく「108」クラブ

河北新報社とその関連 12 社で作る社会貢献団体かほく「108」クラブの助成金『か

ほく「108」ファンド』のNPOへの広報協力や、選考審査委員としてサポート。

NPOで高校生の夏ボラ体験プログラムでは共催団体となって資金支援を受けている。

⑥ その他NPO関連役員等

- ・ NPO 法人パートナーシップなとり 理事
- ・ NPO 法人 ICT 支援ネットワーク宮城 (6/2 解散決議)
- ・ NPO 法人とめ市民活動フォーラム 理事
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター 評議員
- ・ 認定 NPO 法人あかねグループ 評議員

⑦ 会員として連携

- ・ NPO 法人 ICT 支援 NPO ネットワーク宮城 (2017/6/2 解散)
- ・ NPO 法人会計基準協議会
- ・ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ・ NPO 法人日本 NPO センター
- ・ 東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)
- ・ NPO 法人いしのまき NPO センター
- ・ NPO 法人とめ市民活動フォーラム
- ・ NPO 法人パートナーシップなとり

(2) 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として市民活動・NPOの立場から提言した。

- ① 国 : 東北行政評価局会議行政に関する懇談会 (大久保)
- ② 宮城県 : 宮城県防災会議委員 (大久保)
宮城県民間非営利活動促進委員会 (堀川)
- ③ 仙台市 : 第2期 仙台市協働まちづくり推進委員会委員 (庄司)
- ④ その他 : (公財) 宮城県国際化協会評議員 (大久保)
(公財) せんだい男女共同参画財団理事会 (大久保)
(公財) 仙台観光国際協会評議会 (大久保)
せんだい豊齢学園運営委員会 (大久保)

(3) 助成金等審査員

行政や民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- ・ (公財) 仙台観光国際協会助成金審査会
- ・ (一財) 愛知揆一福祉財団「みやぎ社会貢献大賞」審査会
- ・ 宮城県商工会小規模企業広域活性化事業委員会
- ・ 加美町協働のまちづくり助成報告会・公開審査プレゼンテーション
- ・ かほく「108」ファンド助成先選考審査会
- ・ COOPトリプルカードみやぎスマイル基金
- ・ 真如苑みやぎの居場所づくり助成審査

Ⅲ 組織運営に関する事項

1. 総会の開催

2017 年度通常総会を開催

開催日時：2017 年 7 月 23 日（日）18：00～20：00

場所：エル・ソーラ仙台 研修室

議案：第 1 号議案 2016 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 定款変更の審議及び議決

第 3 号議案 2017 年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

2. 理事会の開催

開催日：第 142 回 6 月 28 日 定款の変更、月刊ゆるるの情報ページの活用変更

第 143 回 7 月 10 日 2017 年度の事業方針、決算見込み、月刊ゆるるの今後

第 144 回 9 月 5 日 2017 年度の事業方針、月刊ゆるるの今後の方針

第 145 回 10 月 18 日 月刊ゆるるの今後の方針

第 146 回 11 月 22 日 月刊ゆるるの 1 月～3 月号の在り方、継続を想定した体制

第 147 回 12 月 13 日 今後の体制について

第 148 回 2 月 27 日 体制について

第 149 回 3 月 29 日 事務局体制について

3. 会議

（1）事務局スタッフ及びみやぎ NP0 プラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 10 回開催。

開催日：6 月 5 日、7 月 3 日、8 月 7 日、9 月 4 日、10 月 2 日、11 月 6 日、
12 月 4 日、1 月 8 日、2 月 5 日、3 月 5 日

（2）その他

編集会議、事務局会議、みやぎ NP0 プラザ管理職ミーティングを随時開催

4. 組織の広報及び理解促進

（1）ホームページ等の運用

杜の伝言板ゆるるのホームページ（<http://www.yururu.com/>）・ブログ

（<http://blog.canpan.info/yururu>）を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ／お知らせ 28 件	事務局ブログ 54 件
------------------	-------------

（2）ゆるる通信の発行

杜の伝言板ゆるるの法人全体の活動を伝える「ゆるる通信」を隔月で発行。

発行日：6 月 1 日、8 月 1 日、10 月 1 日、12 月 1 日、2 月 1 日

発送先：正会員・賛助会員・月刊ゆるる発送先

掲載内容

6月号	理事コラム	みやぎ NPO 情報ネットの背景<石澤圭太>
	記事	●気になる休眠預金活用法 なんかにハードルが高くなりそう ●夏ボラ、経営ゼミ、etc… 新しい一年が動き始めています！ ●プラザの短期ショップへお越しください！ ●新しいスタッフです!!どうぞよろしくお願い致します！
8月号	理事コラム	総会を終え、2017 年度が始まった<大久保朝江>
	記事	●頭を悩ませつつ、前に進もうとするゼミ生を精一杯サポートします！（NPO 経営ゼミ） ●事前学習会も終え、いよいよ夏ボラ真っ盛りです！ ●今年もやります！仙台市 NPO 組織基盤安定化事業 ●全国の「NPO 支援」仲間との交流
10月号	理事コラム	動物園と命名権<高浦康有>
	記事	●理想の経営を目指し、テーマをしぼって目標に向かう！（NPO 経営ゼミ） ●9月には他団体との連携イベントにも精を出しました！ ●12 月に向け「センダイほろ酔い寄付キャンペーン」実行委員会が始動開始！ ●NPO についてアツク語り合う夜
12月号	理事コラム	月刊杜の伝言板ゆるるの卒刊について<大久保朝江>
	記事	●ほろ酔いついでに寄付しちゃいませんか？ ●研修で笑顔輝く！（いきいきキャリアアップ研修 in 白石） ●仙台市職員 2 名がゆるるで NPO 支援体験 ●プラザの本屋さんにいらっしゃい！ ●おススメ情報をお届け！みやぎ NPO 情報ネットメールマガジン配信中！
2月号	理事コラム	「センダイほろ酔い寄付キャンペーン」の体験<高浦康有>
	記事	●研修参加の必要性の伝え方 ●震災 7 年目、これからの震災復興支援をどう考える ●団体情報ファイルリニューアル！ ●昨年も 1 年間ありがとうございました！

(3) 新聞等の掲載

i) 記事掲載 12 件

日付	媒体	内容
6/11	大崎タイムス	「ふゆみずたんぼ」で田植え 田尻 仙台などの親子 39 人
6/13	河北朝刊	「伝言板ゆるる」創刊 20 年に感謝
6/17	河北朝刊	親子が田植え挑戦一大崎
7 月	Future Sight	創刊 20 周年を迎えたボランティア・市民活動情報誌と NPO 支援
9/3	河北朝刊	助成金の申請 ポイント助言 仙台・NPO がシンポ
9/18	河北朝刊	ソーシャルビジネス事業継続に課題「外部協力重要」 仙台でシンポ
11/30	河北朝刊	仙台で来月「ほろ酔い寄付」つまみは善意の志
12/1	ウォロ	日本に寄付文化は根づいたか 広がってきた、寄付のバリエーション（センダイほろ酔い寄付キャンペーンについて記載あり）
H30/1/20	石巻かほく	女性が輝く職場模索 経営者らセミナーに学ぶ
1/27	石巻かほく	「復興後」考える SDGs 交流会 来月 15 日
2/22	河北朝刊	NPO の思い伝え 20 年超 仙台の情報誌「杜の伝言板ゆるる」3 月最終号
3/23	河北朝刊	「復興の先 人材育成を」仙台・民間団体が報告会

講座・イベント告知 26 件

ii) 寄稿

発行月	冊子名	発行	タイトル
2018. 2	ウォロ	大阪ボランティア協会	東日本大震災 石巻発 現地から伝える「被災地の今」

5. 会員

正 会 員 39 団体・個人

賛助会員 91 団体・個人

(2018 年 3 月 31 日現在)

6. 事務局員体制

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局（宮城野区榴岡 3-11-6）

代表理事・事務局長：大久保朝江（H26. 4. 1～ ）

常勤職員 2 名、非常勤職員 1 名

(2) みやぎ NPO プラザ勤務（宮城野区榴ヶ岡 5）

館 長：1 名（非常勤）

常勤職員：7 名（副館長：1 名・運営スタッフ 5 名・情報担当 1 名）

非常勤職員：1 名

7. ボランティア

ボランティア実働者数：14 人

総時間数：下記の通り（昨年度はのべ 529.25 時間、のべ 209 人）

	事務局	月刊ゆるる 発送	みやぎ NPO プラザ		
			データ 入力	事務 サポート	催事 サポート
時間	195	118	87	20.5	4
人数	80	48	37	9	1

※のべ総時間数：424.5 時間／のべ総人数：175 人

8. 寄付

- ① 真如苑や 20 個人/団体から合わせて 1,110,000 円の寄付があったほか、イオン中山店のイエローレシートキャンペーンで 13,100 円のギフトカードを頂いた。
- ② 2017 年 6 月に解散した NPO 法人 ICT 支援 NPO ネットワーク宮城より、事務局をしていた当法人に残預金 3,034 円が寄付された。

寄付金等は、月刊杜の伝言板ゆるるの発行ほか、特定非営利活動にかかる活動に使用した。

9. 職員研修

業務上必要なスキルを習得するため、内外の研修に参加した。また、NPO の情報収集やネットワーク構築のために会議等に出席した。

研修においては、勤続年数が短い職員にとっては、みやぎ NPO プラザでの NPO に関する講座の担当によってある程度は理解を深められたが、今年度は、世代交代を意識した研修の手法等の学びの機会とした。ボランティアコーディネート講座や NPO 法人設立講座など、中堅の職員が担った。

【事務局】

研修・会議日	研修・会議名	主催団体	参加数
7 月 6 日、 7 日	NPO 支援センター初任者研修（東京）	認定 NPO 法人日本 NPO センター	1 名
9 月 8 日	市民社会創造ファンド 15 周年企画	NPO 法人市民社会創造ファンド	1 名
10 月 18 日	セミナー「プロボノを理解しよう！」	宮城県	4 名

【みやNPOプラザ】

研修日	研修名	研修場所	主催団体	参加数
4月24日	民間公益活動を促進するための休眠預金活用に関する説明会	宮城県本町分庁舎702会議室	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、宮城県	2名
4月30日 5月1日	杜の伝言板ゆるるの理事及び管理職合同合宿	茂庭社	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる	3名
5月23日	「東日本大震災後設立のNPOにおける活動実態と今後の展望」	東北大学川内キャンパス文科系総合講義棟2階	日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班	2名
6月6日	普通救命講習Ⅰ	文化財保護課分室	文化財保護課分室	3名
6月15日	NPO支援センタースタッフ研修「NPO支援のための基礎研修」	みやぎNPOプラザ	宮城県（みやぎNPOプラザ）	1名
6月16日	平成29年度ボランティアコーディネーター研修	宮城県管工事会館9階大会議室	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
7月6日 7日	平成29年度NPO支援センター初任者研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター	認定NPO法人日本NPOセンター	1名
7月7日	平成29年度ボランティアコーディネーター研修	宮城県管工事会館9階大会議室	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
9月2日	助成財団シンポジウムinみやぎ	河北新報社本館ホール	NPO支援財団研究会、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる	1名
10月11日	平成29年度ボランティアコーディネーター研修	宮城県管工事会館9階大会議室	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	1名
10月18日	セミナー「プロボノを理解しよう」～協働による地域課題解決～	宮城県本町分庁舎会議室	宮城県	2名
12月12日	平成29年度ボランティアコーディネーター研修	宮城県管工事会館9階大会議室	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター	2名
1月22日	実体験から考えるよりよい「理事会運営」のあり方	仙台市市民活動サポートセンターセミナーホール	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、仙台市	1名
2月7日	平成29年度甲種防火管理再講習	フォレスト仙台2階フォレストホール	仙台市消防局予防部予防課	1名